

2020 年度「龍谷 I C T 教育賞」実施要領

1. 目的

- (1) I C T (LMS やネットワーク) を活用して教育効果の向上をはかる実践的な取り組みについて、その成果をグッドプラクティスとして共有し、教育の質向上を図る。
- (2) 教育効果を挙げている取り組みを表彰し顕在化させることで、相乗効果により教員のモチベーションを高め、より質の高い教育の提供・学習効果の向上に寄与する。
- (3) エントリーされた教員やその教育手法を、本学の優れた教育事例として公開することで、本学の教育内容の透明化を図り、学生および保護者をはじめとするステークホルダーからの理解と評価に繋げる。
- (4) 学生の声を活かした FD の気運を高め、学修者本位の教育を全学的に促進する。

2. 対象

(1) 候補者

以下の①、②のいずれかに該当する個人又はグループ

- ① 2020年度の開講科目を担当する全教員（非常勤講師を含む）
- ② I C Tを活用した教育活動をおこなう個人またはグループ（学部・学科等の組織的取組を含む）

(2) 対象となる授業および取組

当該年度開講科目のうち、以下の①～③のいずれかに該当する授業又は取組

① オンライン授業

インターネットを介して、文字・音声・静止画・動画等（さらに教材として教科書、課題図書、既存参照情報等の指示を含む）を自宅等にいる学生に対して配信し、これをもとに設問解答や意見交換などを実施することにより、学修を進めていく授業。

i. ライブ授業

オンライン授業のうち、指定の時間（授業時間割の曜講時）に映像にて双方向（教員と学生）または一方向（教員から学生）で授業を行うもの。

ii. オンデマンド授業

オンライン授業のうち、予め収録した授業（動画・音声）や音声付PowerPoint動画等を配信し、あわせて課題指示等を行うもの。学生は自分の都合で受講することができる。

② オンライン授業と対面授業の併用型授業

③ ①・②以外で I C T ツールを活用した教育活動

3. 実施方法

自薦または他薦による応募の中から、書面審査（必要に応じてヒアリングを実施）により、「龍谷 I C T 教育賞」を選出する。「龍谷 I C T 教育賞」の中から審査会において「龍谷 I C T 教育賞・学長賞」を選出する。

4. 応募期間・方法

(1) 応募期間

2020年7月9日（木）～10月16日（金）

(2) 応募方法

所定の応募書類に必要事項を記入の上応募することとする。（※自薦または教職員による他薦も可とする。）

- ・ 自薦、他薦ともに応募件数の制限は設けない。
- ・ 1 件の応募に複数の授業・取組を含めても良い。
- ・ 応募は個人、グループ、学部・学科などの組織的取組のいずれも可とする。
- ・ 応募書類はメールにて提出することとし、補足資料（動画等）の容量が大きい場合は、事務局と相談の上、別途提出することとする。

●メール送信先：dche@ad.ryukoku.ac.jp

※件名を「龍谷ICT教育賞応募」とすること。

5. 審査

(1) 全ての応募の中から「龍谷 I C T 教育賞」を選出し、その中から「龍谷 I C T 教育賞・学長賞」を選出する。

① 「龍谷 I C T 教育賞」 審査期間

2020年10月下旬～11月上旬

② 「龍谷 I C T 教育賞」 審査結果発表

2020年11月上旬～中旬

③ 「龍谷 I C T 教育賞・学長賞」 審査会

2020年11月～12月の間で調整（公開 F D として実施し、審査委員の投票により原案を作成する。）

④ 「龍谷 I C T 教育賞・学長賞」 審査

原案について学修支援・教育開発センター会議で審議・決定する。

(2) 審査組織・審査方法

① 龍谷 I C T 教育賞：

応募内容をもとに、F D 企画推進委員会において原案を作成、学修支援・教育開発センター会議において審議・決定する。

② 龍谷 I C T 教育賞・学長賞：

審査会は原則として公開 F D として開催し、候補者の発表にもとづき、審査委員（学長、F D 企画推進委員会、十学部合同学生会等の学生、その他学修支援・教育開発センター長が推薦する者）が原案を作成する。原案について、学修支援・教育開発センター会議において審議・決定する。

※当日の発表内容は、発表者の同意の上、動画として記録し、F D に活用する。

(3) 審査基準（龍谷 I C T 教育賞、龍谷 I C T 教育長・学長賞 共通）

下記①～③を踏まえ、総合的に審査する。

① 学習（教育）効果の向上

I C T ツールの各種機能により、受講者の理解促進、学習意欲の維持・向上に寄与し、学習（教育）効果を向上させる工夫がされていることが質的または量的分析で明らかであること。

② 対面授業における課題の改善

I C T 教育の利点を生かすことにより対面授業における問題点や課題を改善し、その結果として、本学の教育の質向上に寄与すること。

③ 新たな教育手法・学習スタイルの創出

チャレンジ精神を発揮した試みであり、新しい教育手法や学習スタイルの創出など、本学の I C T 教育の将来に貢献するものであると判断されること。

※その他受講者の評判（任意）

上記①～③の付帯事項として、「学生による学期末の授業アンケート」の設問項目「この授業のシラバスに示されている『到達目標（目的・ねらい）』を、どの程度達成できたと思いますか。」「この授業に対して、意欲的に取り組めたと思いますか。」等の結果や、各種学生アンケートの結果を応募書類に記載することを認める。

6. 受賞者の決定

最終的な受賞者は学修支援・教育開発センター会議で決定する。

7. 表彰

- ・表彰式をおこない表彰状を授与する。
- ・表彰式において受賞者による講演会を実施する。
- ・受賞を称える記念盾を授与する。
- ・学内広報誌、ウェブページなどで表彰結果を公表する。

※授賞者数は若干名とする。

8. スケジュール（予定）

時期	予定
10月16日（金）	応募締切
10月下旬～11月上旬	龍谷 I C T 教育賞 審査期間
11月上旬～11月中旬	龍谷 I C T 教育賞 審査結果発表
11月～12月の間で調整	龍谷 I C T 教育賞・学長賞 審査会
3月～4月	龍谷 I C T 教育賞 表彰式

以上